

# 柑芦会 本部 ニュース

第 22 号 2021. 5. 1.



wakayama  
univ.

国立大学法人  
和歌山大学

—そして ここから—



## 1. 寄稿①



### ご 挨拶

経済学部副学部長

(教務委員長)

柳 到亨 (リュウ ドウヒョン)

柑芦会の皆様から多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

経済学部で商学（マーケティング、商品企画、流通）を教えている柳到亨（リュウドウヒョン）と申します。2021年4月より、教務委員長を担うこととなりました。今回は経済学部の学位授与方針および教育課程編成と内容について簡略に紹介したいと思います。

経済学部の教育課程を習得し、次の目標を到達していると認められている者に学士（経済学）の学位を授与することになっています。1点目が幅広い教養と分野横断的な学力を持つことです。2点目が専門的知識や技能を身につけていることです。3点目が課題解決力と自己学修能力（主体的に学び続ける姿勢）を身につけることです。4点目が協働性とコミュニケーション能力です。5点目が地域への関心と国際的視点を同時に身につけることです。

上記の学位授与方針に基づき、経済学部では6つのプログラムによる教育課程が存在しています。68期生から始まったプログラム制は、学生の「出口」を意識した、社会で活躍することのできる人材を育成するための教育課程です。各プログラムは学生の「出口」を目指したものになっているだけでなく、経済学部の特色ともいえる5つの学問領域（経済学・経営学・会計学・情報学・法律学）によってそれぞれ成り立っています。経済学部生は、各自の「出口」への希望によってプログラムにおける学びを選択し、すべてのプログラムにおいて複数の学問領域を学んで卒業することが可能です。

複数の学問領域から成る複数のプログラムを安定的に運用することは容易なことではありません。教務委員会は経済学部生の学びのため、さらには経済学部卒業生が社会に資する存在となるため、カリキュラムの安定的運用を実現することに常に力を尽くす所存です。教務委員長として、教務委員の協力を得ながら、和歌山大学経済学部が和

歌山県をはじめとする地域と日本をはじめとする国際社会の礎となることができるよう日々励んでまいりたいと存じます。

柑芦会の皆様におかれましては、今後とも経済学部における学びの安定と発展のために、お力添えをいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

## 1. 寄稿一②



### 支部運営の現況と 活性化協力をお願い

京滋支部 支部長

和田 壽郎（大 14）

私は元協栄生命保険(株)（現：ジブラルタ生命保険(株)）を2001年3月59歳で退職後、縁あって、京都コンピュータ学院が創設した(株)ケーシージーキャリア（派遣会社）に第2の人生の職場を得、爾来今日まで20年にわたり委託業務に就いております。当初は創業したばかりの派遣会社の運営に当たりましたが、徐々に本体の京都コンピュータ学院の広報や学生の就職関係の担当を引き受けるようになりました。5年ほど経った頃より学校が会員となっている一般社団法人京都府情報産業協会の事務局の仕事にも関わりはじめ、2006年6月学院の統括理事長が協会の副会長から会長に選任されたため、私も事務局長を引受けることとなり現在に至っております。協会は情報関連技術の普及及び利活用に関する諸事業を行い、地域社会の情報化の促進、京都府民の生活向上への寄与を目的として活動しています。具体的には、会員企業が保有するITに関するノウハウや人材をベースにして、産・官・学のネットワークを構築し、京都地域の特性を生かした情報化促進事業の推進、情報通信技術を含む今日的テーマに関するオープンセミナーや研修会の開催、全国の地域情報関連団体との連携を図りIT活性化事業を推進しています。この一年新型コロナウイルスの感染防止のため、テレワークや自粛生活が余儀なくされ、協会の諸行事の運営はオンラインで行うなど従来とは一変しました。今後はリアルとオンラインの組み合わせによるハイブリッドな運営が主流になると考えられます。世界水準に一步遅れを取っているわが国のデジタル化の推進のため、9月に発足予定のデジタル庁の役割が重要視されています。

さて、このような公益法人の事務局業務の傍ら2007年（平成19年）京滋支部の幹事長を引き受けることになり、更に2016年（平成28年）より現在まで柑芦会京滋支部長に任ぜられております。京滋支部の現況はここ数年来年1回の支部総会の開催のみで、他のイベントは行っておりません。以前は宇治平等院見学、「長浜盆栽展」見学、天王山歴史探訪ウォーキング（天王山～アサヒ美術館～サントリービール工場見学）、滋賀県海津大崎の花見、三上先生による「経済文化講座」、支部ゴルフコ

ンペ等、総会以外の多彩なイベントも行っていましたが、現在私と宮下 剛 幹事長（46期）の2名だけの運営であり、お互いに現職のため極めて厳しい状況です。ただ総会では、余興なども工夫を凝らし、参加者全員の近況報告を交え和気藹々とした懇親の集いとなっています。柑芦会本部の名簿上、京滋支部の会員は380名余ですが、実情は60名程の方からの返信及び会費納入の状況です。しかしこの60名の方々を軸にし、10名ぐらいの幹事団を形成することが、支部活性化の急務と考えられ、皆様のご協力を願うばかりです。デジタル社会ですので、オンラインの活用による活性化が最も効果的であると考えられます。

先ず本部または支部への皆様のメールアドレスの登録を行っていただくことが肝要と存じます。また、この数年、京滋支部長並びに幹事数名の新たな候補者を募集しております。どうか、率先して手を挙げていただきたく誌面をお借りし要請させていただきます。

（京滋支部長 和田壽郎 大14 支部メールアドレス：[tosi\\_wada92@yahoo.jp](mailto:tosi_wada92@yahoo.jp)）



《2019年11月16日の総会風景》

## 2. 事務局より

### 柑芦誌（52号）特集記事 寄稿募集

柑芦誌（52号、発行2021年10月1日）の編集の時期を迎えました。52号の特集として「コロナ後の展望」（仮称）を予定しています。柑芦会会員皆様から広く原稿を募集いたします。振るっての寄稿をお待ちいたします。

#### ◆機構要項

- ①特集 「コロナ後への展望」（仮称）
- ②企画意図 コロナ後の展望が開けない中、「我々は今後どう対応すればよいか」ということをそれぞれの立場で自由にご意見を出していただきたく企画しました。
- ③原稿 ・800～1,200字 ワード（ほぼ柑芦誌1頁分）  
・写真 1～2枚（顔写真含む）
- ④期限 2021年7月20日（火）
- ⑤原稿送り先 柑芦会 本部事務局宛  
メールアドレス：[honbu@kourokai.com](mailto:honbu@kourokai.com)

柑芦編集委員会  
柑芦会 本部事務局

会議ご案内

柑芦会・財団 定例理事会・評議員会の開催

2021 年度の柑芦会・財団の理事会・評議員会を、コロナ禍の現況下ですので、オンライン (Zoom) で開催いたします。

記

日 時:2021 年 5 月 15 日 (土)13:00~16:00(予定)

実施形式:オンライン (Zoom) で実施いたします。

出席者:柑芦会・・・総会実施時点での理事

財団・・・新・旧の理事・評議員

\*\*\*\*\*

和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会 本部 事務局

〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207 号

Tel:06-6941-4986 Fax:06-6947-7925

E-Mail: [honbu@kourokai.com](mailto:honbu@kourokai.com) URL : <http://www.kourokai.com/honbu/>



こうろかい

検索



フェイスブック

ホームページ「柑芦会」

「柑芦会オフィシャルグループ」

\*\*\*\*\*